

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

2018 年度実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		限られた場所をどのように使うか工夫しながら環境設定を行っている。子どもたちの成長に伴ったスペースの確保は今後検討していく必要がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			適切な職員配置を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			適切になされている。利用者に応じて腰掛ける台を用意するなど配慮している。
業務 改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			職員間で意見を出し合いながら改善のための取り組みを行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年保護者アンケートを実施している。結果はお便りで保護者に報告するようにしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部の評価も受けながら必要に応じて業務改善を行っている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事業所内外での研修に加え、スーパーバイザーを交えた事例検討会も行っている。
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			適宜、子どもの姿を評価しながら個別課題を設定している。またケース検討を実施し、保護者のニーズと子どもの課題を客観的に分析した上で計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			他機関からの情報を共有した上で状況を把握することが多いが、必要に応じて検査も実施している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員間で話し合いながら決めている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子どもの実態に合わせて新しい課題や活動を行えるように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日、長期休暇等の利用状況に応じて、活動内容や課題を設定している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別療育が主な支援であるが、同時に利用されている他児との遊びを課題に設定する等、子どもの実態に合わせて計画を作成している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			その日の流れを職員間で共有し、どのような動きで職員が対応するのかを確認し合っている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援後には、子どもの姿を職員間で共有し、課題の振り返りや気づいたことについて話し合うようにしている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			課題ごとの様子を日々記録することで、子どもの現在の発達を理解したり、課題の見直しにつなげている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半年に1回の頻度で計画の見直し(評価)を行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			総則の4つの基本活動の視点を取り入れながら活動組み立てている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			適切な職員が対応している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			ノートを作成し、デイでの姿や学校の様子などをノートを通して学校と保護者・関係機関との間で情報の共有を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	当事業所は対象となる利用者はいない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			児童発達支援から放課後デイに移行される利用者が多く、園の頃から支援会議に参加するなどして、情報共有は積極的に行ってきた。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			必要に応じて、移行先の事業所に出向き、これまでの支援内容等の情報提供を行っている。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修に参加したり、必要に応じて助言を受けるなど連携を行っている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○			長期休暇以外の平日預かりでは、併設する児童センターで地域の子どもたちとともに過ごしている。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			積極的に参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			観察室から子どもの様子を保護者と一緒に観察しながら、個別課題の意図を伝えたり、子どもの姿、課題を共通理解したりしている。
保護者への説明責任等	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者向けトレーニングは行っていないが、観察室から子どもの様子を職員が保護者とともに観察することを通して、子どもの姿の理解や対応方法について助言している。
	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			子育てに関する悩みに応じながら、適切な関わり方を助言している。必要に応じて、スーパーバイザーによる「子育て相談」を利用することもできる。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			保護者会の行事の案内や連絡調整を必要に応じて行っている。

	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		意見受付箱を設置し、対応体制を整えている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行している。保護者だけでなく、子どもたちの通う園や学校にもお便りを配布し、情報を発信している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の取り扱いには十分に注意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		事前に予告したり、大事な内容は視覚的に示しながら伝えたりする等の配慮を行っている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		お楽しみ会等の行事では、併設の園児を招いたり、利用児童に関係する一般の方々も招待している。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各マニュアルを策定し、職員に周知している。保護者にはわかりやすい形に作り変えた上で、待合いや観察室に掲示している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月様々な災害を想定した防災訓練を行い、職員間で動きを確認し合っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		子どもの行動への理解や対応についての事例検討会をスーパーバイザーを交えて行っている。子どもの姿を理解し共有することで虐待防止につなげている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		やむを得ず身体拘束を行う可能性のある児童に関しては、状況や対応方法を計画にも記載している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		現在は該当者がいないが、必要に応じて対応していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		事例集を作成し、エピソードを共有できるようにしている。